

平成21年6月5日

株式会社TBSテレビの「情報7days ニュースキャスター」における放送に関する問題への対応

総務省は、本日、株式会社TBSテレビが平成21年4月11日に放送した「情報7days ニュースキャスター」について、放送法（昭和25年法律第132号）第3条の2第1項第3号との関係上、放送番組の編集上求められる注意義務を怠った重大な過失があったものと認められることから、同社に対し、別添のとおり、今後このようなことがないよう厳重に注意するとともに、再発防止に向けた取組を強く要請しました。

連絡先

情報流通行政局 地上放送課
担当：遠藤課長補佐、中屋敷公共放送係長
電話：03-5253-5793
FAX：03-5253-5779

別添

平成21年6月5日

株式会社TBSテレビ
代表取締役社長 石原 俊爾 殿

総務省情報流通行政局長
山川 鉄郎

「情報7days ニュースキャスター」における問題への対応について（厳重注意）

貴社が平成21年4月11日に放送した「情報7days ニュースキャスター」の「地方自治特集」のVTRの中で、二重行政の事例として放送した部分について、次の点において重大な過失があったと認められる。

本件は、清掃車が普段ブラシを上げず清掃を中断しない交差点において番組スタッフからの依頼により番組のために清掃車がブラシを上げて清掃を中断した状態で通過するところの作業風景を撮影した映像をもって二重行政の象徴的な事例として紹介し、「清掃車が掃除していたのは府の道路。国道にさしかかると清掃をやめなければならない。国道が通る交差点は国が掃除することになっているという。」というナレーションを付して放送したという事案である。

これは、番組スタッフが当該交差点においては普段ブラシを上げるということはないことを承知していながらも「ブラシを上げるのが正式な方法と思い込んでいた」との理由で撮影した当該映像を放送したものであり、結果として、当該交差点における事実を正確に報道したもとは言えなくなったものである。この点において、放送法（昭和25年法律第132号）第3条の2第1項第3号「報道は事実をまげないですること」との関係上、貴社に、放送番組の編集上求められる注意義務を怠った重大な過失があったものと認められる。

これは、放送の公共性とその社会的責任にかんがみ、誠に遺憾であり、今後このようなことがないよう厳重に注意するとともに、再発防止に向けた取組を強く要請する。

また、再発防止に向けた取組の内容について、3か月以内に文書により報告されたい。

BPOについて

更新情報

- 2010年 9月30日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)
- 2010年 9月30日 [放送人権委員会の第165回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 9月30日 [放送人権委員会「意見交換会・シンポジウム」を更新しました](#)
- 2010年 9月22日 [青少年委員会の8月分中学生モニター報告の概要を掲載しました](#)
- 2010年 9月22日 [2010年8月の視聴者意見を掲載しました](#)
- 2010年 8月26日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)
- 2010年 8月25日 [放送人権委員会の第164回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 8月19日 [2010年7月の視聴者意見を掲載しました](#)
- 2010年 8月19日 [青少年委員会の第114回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 8月17日 [放送倫理検証委員会の第40回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 8月 2日 [放送倫理検証委員会決定第8号の当該局の対応を掲載しました](#)
- 2010年 7月27日 [放送人権委員会の第163回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 7月27日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)
- 2010年 7月21日 [2010年6月の視聴者意見を掲載しました](#)
- 2010年 7月20日 [放送倫理検証委員会の第39回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 7月20日 [青少年委員会の第113回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 7月 8日 [評議員紹介ページを更新しました](#)
- 2010年 7月 5日 [平成22年度第1回理事会議事録を掲載しました](#)
- 2010年 6月24日 [2009年度 視聴者からの意見の概要と統計を掲載しました](#)
- 2010年 6月23日 [放送人権委員会の第162回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 6月22日 [2010年5月の視聴者意見を掲載しました](#)
- 2010年 6月18日 [青少年委員会の第112回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 6月17日 [放送倫理検証委員会の第38回議事概要を掲載しました](#)
- 2010年 6月16日 [放送人権委員会決定第43号の当該局の対応を掲載しました](#)
- 2010年 6月11日 [理事紹介ページを更新しました](#)

2010年 6月 2日 [放送人権委員会の第161回議事概要を掲載しました](#)

2010年 6月 2日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)

2010年 6月 1日 [理事紹介ページを更新しました](#)

2010年 5月25日 [放送倫理検証委員会の第37回議事概要を掲載しました](#)

2010年 5月25日 [2010年4月の視聴者意見を掲載しました](#)

2010年 5月18日 [青少年委員会の第111回議事概要を掲載しました](#)

2010年 4月28日 [放送人権委員会の第160回議事概要を掲載しました](#)

2010年 4月28日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)

2010年 4月16日 [放送倫理検証委員会の第36回議事概要を掲載しました](#)

2010年 4月14日 [2010年3月の視聴者意見を掲載しました](#)

2009年 4月14日 [青少年委員会の第110回議事概要を掲載しました](#)

2010年 4月12日 [放送倫理検証委員会の委員紹介ページを更新しました](#)

2010年 4月 5日 [平成21年度第2回理事会議事録を掲載しました](#)

2010年 4月 1日 [放送倫理検証委員会の委員紹介ページを更新しました](#)

2010年 4月 1日 [理事紹介ページを更新しました](#)

2010年 3月31日 [放送人権委員会の第159回議事概要を掲載しました](#)

2010年 3月31日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)

2010年 3月17日 [2010年2月の視聴者意見を掲載しました](#)

2010年 3月17日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)

2009年 3月17日 [青少年委員会の第109回議事概要を掲載しました](#)

2010年 3月15日 [放送倫理検証委員会の第35回議事概要を掲載しました](#)

2010年 2月26日 [放送人権委員会の仲介・斡旋解決事案を更新しました](#)

2010年 2月26日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)

2010年 2月26日 [放送人権委員会の第158回議事概要を掲載しました](#)

2010年 2月18日 [2010年1月の視聴者意見を掲載しました](#)

2010年 2月17日 [放送倫理検証委員会の第34回議事概要を掲載しました](#)

2009年 2月17日 [青少年委員会の第108回議事概要を掲載しました](#)

2010年 2月 5日 [青少年委員会「中学生モニター会議」更新しました](#)

2010年 1月29日 [放送人権委員会決定第41号の当該局の対応を掲載しました](#)

2010年 1月29日 [放送人権委員会の審理中事案を更新しました](#)

2010年 1月29日 [放送人権委員会の第157回議事概要を掲載しました](#)

2010年 1月26日	放送倫理検証委員会の第33回議事概要を掲載しました
2010年 1月26日	2009年12月の視聴者意見を掲載しました
2010年 1月26日	青少年委員会の第107回議事概要を掲載しました
2010年 1月 5日	放送人権委員会「意見交換会・シンポジウム」を更新しました
2009年12月22日	放送人権委員会の仲介・斡旋解決事案を更新しました
2009年12月22日	放送人権委員会の第156回議事概要を掲載しました
2009年12月17日	放送倫理検証委員会の第32回議事概要を掲載しました
2009年12月17日	2009年11月の視聴者意見を掲載しました
2009年12月17日	青少年委員会の第106回議事概要を掲載しました
2009年12月11日	放送倫理検証委員会決定第5号の訂正を掲載しました
2009年11月27日	放送人権委員会の審理中事案を更新しました
2009年11月27日	放送人権委員会の第155回議事概要を掲載しました
2009年11月24日	放送倫理検証委員会の第31回議事概要を掲載しました
2009年11月24日	放送倫理検証委員会の第30回議事概要を掲載しました
2009年11月24日	2009年10月の視聴者意見を掲載しました
2009年11月17日	放送倫理検証委員会の委員会決定第7号を掲載しました
2009年11月12日	青少年委員会の第105回議事概要を掲載しました
2009年10月28日	放送人権委員会の新しい仲介・斡旋解決事案を掲載しました
2009年10月28日	放送人権委員会の審理中事案を更新しました
2009年10月28日	放送人権委員会の第154回議事概要を掲載しました
2009年10月27日	青少年委員会の第104回議事概要を掲載しました
2009年10月27日	2009年9月の視聴者意見を掲載しました
2009年10月23日	「"デジタルネイティブ"はテレビをどう見ているか?～番組視聴実態300人調査」報告書を掲載しました
2009年10月20日	評議員紹介ページを更新しました
2009年10月20日	放送倫理検証委員会決定第1号の当該局の対応を掲載しました
2009年10月19日	放送倫理検証委員会の第29回議事概要を掲載しました
2009年10月14日	放送倫理検証委員会決定第6号の当該局の対応を掲載しました
2009年 9月24日	放送人権委員会の新しい仲介・斡旋解決事案を掲載しました
2009年 9月24日	放送人権委員会の審理中事案を更新しました
2009年 9月24日	放送人権委員会の第153回議事概要を掲載しました
2009年 9月18日	2009年8月の視聴者意見を掲載しました

2009年 9月14日	青少年委員会の「中学生モニター会議」、8月分中学生モニター報告の概要を掲載しました
2009年 9月 2日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2009年 9月 2日	放送人権委員会の第152回議事概要を掲載しました
2009年 8月27日	English Pageを更新しました
2009年 8月26日	よくある質問を更新しました
2009年 8月21日	放送倫理検証委員会決定第5号の当該局の見解に対する委員長のコメンを掲載しました
2009年 8月18日	青少年委員会の第103回議事概要を掲載しました
2009年 8月18日	2009年7月の視聴者意見を掲載しました
2009年 8月13日	放送倫理検証委員会の第28回議事概要を掲載しました
2009年 8月13日	放送倫理検証委員会の第27回議事概要を掲載しました
2009年 8月12日	放送人権委員会の第151回議事概要を掲載しました
2009年 8月10日	放送倫理検証委員会決定第5号の当該局の見解を掲載しました
2009年 8月 7日	第40号放送人権委員会決定を掲載しました
2009年 8月 7日	放送人権委員会決定第39号の当該局の対応を掲載しました
2009年 8月 7日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2009年 8月 7日	放送人権委員会の第150回議事概要を掲載しました
2009年 8月 6日	放送人権委員会の2009年度 仲介・斡旋解決事案を掲載しました
2009年 7月21日	青少年委員会の第102回議事概要を掲載しました
2009年 7月21日	2009年6月の視聴者意見を掲載しました
2009年 7月17日	TBSテレビ『ニュースキャスター「二重行政の現場」』に関する委員長談話を発表
2009年 7月 9日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2009年 7月 9日	放送人権委員会の第149回議事概要を掲載しました
2009年 7月 9日	放送倫理検証委員会の第26回議事概要を掲載しました
2009年 7月 2日	2008年度 視聴者からの意見の概要と統計を掲載しました
2009年 6月29日	「BPO報告」年次報告会特集号を掲載しました
2009年 6月29日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2009年 6月29日	放送人権委員会の第148回議事概要を掲載しました
2009年 6月24日	青少年委員会の第101回議事概要を掲載しました
2009年 6月24日	2009年5月の視聴者意見を掲載しました
2009年 6月10日	放送倫理検証委員会の第25回議事概要を掲載しました
2009年 6月 1日	青少年委員会の第100回議事概要を掲載しました

2009年 5月29日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2009年 5月29日	放送人権委員会の第147回議事概要を掲載しました
2009年 5月27日	2009年4月の視聴者意見を掲載しました
2009年 5月18日	放送人権委員会「シンポジウム・意見交換会」を掲載しました
2009年 5月18日	放送倫理検証委員会「シンポジウムなど」を掲載しました
2009年 5月15日	放送倫理検証委員会の第24回議事概要を掲載しました
2009年 5月 8日	青少年委員会の第99回議事概要を掲載しました
2009年 5月 1日	平成20年度第3回理事会議事録を掲載しました
2009年 5月 1日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2009年 5月 1日	放送人権委員会の第146回議事概要を掲載しました
2009年 5月 1日	青少年委員会の委員紹介ページを更新しました
2009年 4月28日	第5号 放送検証委員会決定を掲載しました
2009年 4月22日	放送人権委員会の委員紹介ページを更新しました
2009年 4月21日	2009年3月の視聴者意見を掲載しました
2009年 4月 8日	放送倫理検証委員会の第23回議事概要を掲載しました
2009年 4月 1日	青少年委員会の委員紹介ページを更新しました
2009年 4月 1日	放送人権委員会の委員紹介ページを更新しました
2009年 4月 1日	評議員紹介ページを更新しました
2009年 4月 1日	放送人権委員会の第145回議事概要を掲載しました
2009年 3月30日	第39号放送人権委員会決定を掲載しました
2009年 3月30日	評議員、放送人権委員会と青少年委員会の委員の新任について掲載しました
2009年 3月27日	2009年2月の視聴者意見を掲載しました
2009年 3月12日	青少年委員会の第98回議事概要を掲載しました
2009年 3月10日	放送倫理検証委員会の第22回議事概要を掲載しました
2009年 2月26日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2009年 2月26日	放送人権委員会の第144回議事概要を掲載しました
2009年 2月20日	青少年委員会 2009年度前期「中学生モニター募集」のお知らせを掲載しました
2009年 2月19日	2009年1月の視聴者意見を掲載しました
2009年 2月18日	放送倫理検証委員会の第21回議事概要を掲載しました
2009年 2月12日	青少年委員会の第97回議事概要を掲載しました
2009年 2月10日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました

2009年 2月9日	放送人権委員会「見解」「提言」などについてを新規に掲載しました
2009年 2月9日	放送人権委員会の第143回議事概要を掲載しました
2009年 1月30日	放送倫理検証委員会の第20回議事概要を掲載しました
2009年 1月20日	2008年12月の視聴者意見を掲載しました
2009年 1月16日	平成20年度第2回理事会議事録を掲載しました
2009年 1月14日	青少年委員会の第96回議事概要を掲載しました
2009年 1月 9日	評議員の新任についてを掲載しました
2009年 1月 6日	青少年委員会 第8回中学生フォーラム「激論！ニュース番組」の放送予定
2008年12月24日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2008年12月24日	放送人権委員会の第142回議事概要を掲載しました
2008年12月12日	青少年委員会の第95回議事概要を掲載しました
2008年12月12日	2008年11月の視聴者意見を掲載しました
2008年12月10日	放送倫理検証委員会の第19回議事概要を掲載しました
2008年12月 3日	「広島県知事選挙金疑惑報道」事案の委員会決定を通知・公表
2008年11月28日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2008年11月28日	放送人権委員会の第141回議事概要を掲載しました
2008年11月28日	青少年委員会の第8回中学生フォーラム「激論！ニュース番組」開催のお知らせ
2008年11月11日	青少年委員会の第94回議事概要を掲載しました
2008年11月11日	2008年10月の視聴者意見を掲載しました
2008年10月31日	放送倫理検証委員会の第18回議事概要を掲載しました
2008年10月31日	放送事業者外理事の選任について
2008年10月28日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2008年10月28日	放送人権委員会の第140回議事概要を掲載しました
2008年10月17日	平成20年度第1回理事会議事録を掲載しました
2008年10月16日	2008年9月の視聴者意見を掲載しました
2008年10月16日	青少年委員会の第93回議事概要を掲載しました
2008年10月15日	放送人権委員会決定第36、37号の当該局の対応を掲載しました
2008年10月10日	放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました
2008年10月10日	放送人権委員会の第139回議事概要を掲載しました
2008年10月6日	放送倫理検証委員会の第17回議事概要を掲載しました
2008年9月17日	2008年8月の視聴者意見を掲載しました

-
- 2008年9月12日 [光市事件放送についての「意見」に対する各局の考え方を掲載](#)
-
- 2008年9月11日 [青少年委員会の8月分中学生モニター意見を掲載しました](#)
-
- 2008年8月28日 [放送人権委員会の新しい仲介・斡旋解決事案を掲載しました](#)
-
- 2008年8月28日 [放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました](#)
-
- 2008年8月28日 [放送人権委員会の第138回議事概要を掲載しました](#)
-
- 2008年8月22日 [2008年7月の視聴者意見を掲載しました](#)
-
- 2008年8月21日 [青少年委員会 2008年度後期「中学生モニター募集」のお知らせを掲載しました](#)
-
- 2008年8月8日 [青少年委員会の第92回議事概要を掲載しました](#)
-
- 2008年8月5日 [放送人権委員会の新しい仲介・斡旋解決事案を掲載しました](#)
-
- 2008年8月5日 [放送人権委員会の新しい審理中事案を掲載しました](#)
-
- 2008年8月1日 [放送人権委員会の第137回議事概要を掲載しました](#)
-
- 2008年7月22日 [2008年6月の視聴者意見を掲載しました](#)
-
- 2008年7月22日 [理事会名簿を更新しました](#)
-
- 2008年7月22日 [青少年委員会の第91回議事概要を掲載しました](#)
-
- 2008年7月15日 [放送人権委員会の第136回議事概要を掲載しました](#)
-
- 2008年7月15日 [放送人権委員会の新しい仲介・斡旋解決事案を掲載しました](#)
-
- 2008年7月10日 [放送倫理検証委員会の第15回議事概要を掲載しました](#)
-
- 2008年7月2日 [第37号放送人権委員会決定を掲載しました](#)
-
- 2008年7月2日 [ホームページを新しくしました](#)
-



放送倫理検証委員会

2009年度 議事概要

第25回 放送倫理検証委員会

1. 日時 2009年 5月15日（金） 午後5時～8時40分
2. 場所 「放送倫理・番組向上機構 [BPO]」 第1会議室(千代田放送会館7階)
3. 議題
 1. [虚偽証言をスクープとして放送した日本テレビの報道番組『真相報道バンキシャ!』](#)
 2. [戦時性暴力を扱ったNHKの『ETV2001』](#)
 3. [東京・荒川区議会報道は過剰取材だとクレームがあったテレビ朝日の『スーパーJチャンネル』](#)
 4. [道路清掃をめぐる二重行政問題を取り上げたTBSの『情報7daysニュースキャスター』](#)
 5. [バラエティー番組の問題点について](#)
 6. [「BPO報告」等における局名・番組名の公表ルールについて](#)
4. 出席者 川端委員長、上滝委員長代行、小町谷委員長代行、石井委員、市川委員、里中委員、立花委員、服部委員、水島委員、吉岡委員
5. 議事の概要

第25回放送倫理検証委員会は5月15日に開催され、まず、日本テレビ『バンキシャ』について3回目の審理を行った。最初に特別調査チームから裏金作り報道に関する調査結果の中間報告があり、その上で議論がなされた。

NHK『ETV2001』については、委員会が公表した「意見」に対して新聞報道などさまざまな反応があったので、それについて意見交換を行った。

荒川区議会に対する報道は過剰だったと当該局にクレームがあった事案については、通常の範囲内の取材であると判断し、取り扱わないことにした。

次に、二重行政をテーマに、大阪府の道路清掃を取り上げた事案は、当該局に質問書を出し、回答を待って改めて検討することにした。

バラエティー番組の問題点については、委員会として蓄積してきた具体的な事例をどういう方法で取り上げるかについて話し合った。

最後に、委員会で討議した事案が既にマスメディアにより周知されている場合には、原則として「BPO報告」等では実名を公表することを決めた。

1. 虚偽証言をスクープとして放送した日本テレビの報道番組『バンキシャ』

岐阜県が発注した土木工事で、裏金作りが行われているという建設会社役員の証言を報じた日本テレビの報道番組『バンキシャ』（2008年11月23日放送）について、委員会は特別調査チームを編成し、事実関係の調査を行った。調査は当該番組のスタッフおよび取材先の関係者に対するヒアリングを中心に行われ、調査担当責任者である調査顧問から委員会に対してその結果が中間報告された。

<主な委員の意見>

- 全ての元凶は制作時間の短さだ。真相を究明するというよりも、放送日に間に合わせるようにしようとするのが、曖昧で中途半端な取材になる原因だ。可哀想なくらい現場のディレクターが駆け回っているという状況を作ってしまった。
- 画が取れば何でもいいという、映像至上主義的な感じがする。組織としてチームでやっているはずだが、実態はチームになっていない。お互いの連絡は不十分で、てんでばらばら、チェック機能が働いていない。
- 正確な意味で誰も価値判断していない。裏付けを取ろうと提言してみたところで、この構造である限りまた起きる。そこが一番問題。
- こういことがおきないためには(1)責任体制の確立(2)責任者の資質をたかめること(3)告発を疑うスタンスをもつこと、が大事だ。
- 制作者は、こうすれば視聴者が"怒り"を抱くだろうと安易に演出しているようにみえる。その手法は報道番組ではなく「水戸黄門」を見ているようだ。「俺たちが正義だ」というような感じがする。

特別調査チームの報告や、こういった意見を受けて、次回の委員会では委員会としての対応を検討することにした。

2. 戦時性暴力を扱ったNHKの『ETV2001』

この事案は前回の委員会では審議を終了し、4月28日にNHKに対して委員会の「意見」を通知した後、記者発表を行った。新聞等でさまざまな報道がなされたので、それらについて意見交換を行った。

3. 東京・荒川区議会報道は過剰取材だとクレームがあったテレビ朝日の『スーパーJチャンネル』

3月24日の『スーパーJチャンネル』において、荒川区議会の予算案に盛り込まれた区議会議員の人間ドック費用を全額公費負担にする件と、議長室の応接セットを高価なものに買い替える件はお手盛りではないか、という放送を行った。その取材方法が強引で、伝え方にも問題があるなどと数人の荒川区議からクレームがあった事案。

当該番組を視聴し、テレビ朝日の説明文書を検討した結果、委員会は通常の取材の範囲内であると判断した。また、議員は公人なのだから、その意見を公にできる場合は他にもあるのではないかと、という意見が述べられた。以上の観点から、この事案は取り上げないこととした。

4. 道路清掃をめぐる二重行政問題を取り上げたTBS『情報7daysニュースキャスター』

大阪府の府道と国道との交差点で、大阪府の清掃車が国道を横切るときに、清掃用のブラシを上げて国道は清掃しないようにして通行する映像が二重行政の象徴的なシーンとして放送された（4月11日）。しかし、通常はこのような方法は行わず、TBSの依頼による動作だったことが分かった。TBSも行き過ぎた取材であったことを認め、2週間後にお詫び放送を行った（4月25日）。

委員会はTBSが作成した報告書を検討した結果、改めて同局へ質問書を出し、その回答を受けて引き続き検討することにした。

5. バラエティー番組の問題点について

バラエティー番組全体に見られる放送倫理上の問題点を委員会としてどう扱うのかという問題については、個別の番組としてではなく、いくつかの番組を複合的な視点から扱う方法など、時代と共に変化しているバラエティー番組に対応できるような新しい切り口を見つける必要があるとの議論がなされた。

<主な委員の意見>

- 報道系の問題は事実をきちんと伝える義務があるから、その判断基準に従って議論できる。しかし、バラエティーは、視聴者を楽しませたかどうか、視聴者と良好な関係が作られているかどうかといった別の軸が必要ではないか。
- バラエティー番組のアウトソーシング先は、制作プロダクション、芸能プロダクション、スポンサーないしは営業（代理店）の3つ。放送局の制作者がこの外部3組織との間で、主体性を持ってなくなったことが、放送倫理と深い関係があるのではないか。
- 最近のバラエティー番組の傾向は、視聴者が生身のタレントの姿を求めるようになってきたので、台本が邪魔になってきた。この変化が、バラエティー制作者の横着さを生んだのではないか。

「こういうバラエティーが良いバラエティー番組だからこのように作りなさい」という結論は、この委員会としては言うべきではないという点では一致し、引き続き議論を継続することにした。

6. 「BPO報告」等における局名・番組名の公表ルールについて

従来、委員会の「討議」事案をBPO報告に記載するときは、放送局名や番組名は公表しないことを原則としてきた。しかし、新聞や週刊誌などのメディアで既に周知されている事案については匿名にする必然性がないので、今後は原則として公表することとした。

なお、「審議」「審理」事案については従来どおり公表する。

以上

[第36回 放送倫理検証委員会 - 2010年3月](#)

[第35回 放送倫理検証委員会 - 2010年2月](#)

[第34回 放送倫理検証委員会 - 2010年1月](#)

[第33回 放送倫理検証委員会 - 2009年12月](#)

[第32回 放送倫理検証委員会 - 2009年11月](#)

[第31回 放送倫理検証委員会 - 2009年10月](#)

[第30回 放送倫理検証委員会 - 2009年10月](#)

[第29回 放送倫理検証委員会 - 2009年9月](#)

[第28回 放送倫理検証委員会 - 2009年7月](#)

[第27回 放送倫理検証委員会 - 2009年7月](#)

[第26回 放送倫理検証委員会 - 2009年6月](#)

[第25回 放送倫理検証委員会 - 2009年5月](#)

[第24回 放送倫理検証委員会 - 2009年4月](#)

放送倫理検証委員会

2009年度 議事概要

第26回 放送倫理検証委員会

1. 日時 2009年 6月12日（金）午後5時～8時40分
2. 場所 「放送倫理・番組向上機構 [BPO]」 第1会議室(千代田放送会館7階)
3. 議題
 1. [虚偽証言をスクープとして放送した日本テレビの報道番組『真相報道バンキシャ!』](#)
 2. [戦時性暴力を扱ったNHKの『ETV2001』](#)
 3. [道路清掃をめぐる二重行政問題を取り上げたTBSの『情報7daysニュースキャスター』](#)
 4. [バラエティー番組の問題点について](#)
4. 出席者 川端委員長、上滝委員長代行、小町谷委員長代行、石井委員、市川委員、立花委員、服部委員、水島委員、吉岡委員
5. 議事の概要

第26回放送倫理検証委員会は6月12日に開催され、まず、日本テレビ『バンキシャ!』について4回目の審理を行った。担当委員による委員会決定文案について議論されたが結論に至らず、次回に持ち越すこととした。

『ETV2001』については、NHKから「放送倫理検証委員会の意見についての見解」が提出されたので意見交換を行った。その結果、より多くの方々に議論を深めてもらうために、委員会の「意見」とNHKの見解等をまとめたブックレットを発行することにした。

二重行政をテーマに大阪府の道路清掃を取り上げた『ニュースキャスター』事案については、委員会からの質問に対するTBSの回答が提出された。それをもとに討議したが取り上げるかどうかを含めて、再度議論することにした。

バラエティー番組の問題点については、担当委員により2案出された原案を一本化した上で、7月に臨時の委員会を開いて集中的に議論することにした。

1. 虚偽証言をスクープとして放送した日本テレビの報道番組『真相報道バンキシャ!』

岐阜県が発注した土木工事で、裏金作りが行われているという建設会社役員の証言を報じた日本テレビの報道番組『バンキシャ!』（2008年11月23日放送）について、担当委員が作成した決定文案をもとに審理した。

現場で取材したスタッフの能力の問題よりも、むしろ制作体制の不備など構造上の問題ではないかという点に議論が集中した。

また、委員会として、検証番組の制作・放送を行う等の「勧告」を出すべきかどうかについても議論されたが、今回は結論に至らなかった。

<主な委員の意見>

- 本来、取材を陣頭指揮すべき立場の人たちが局内にいて、現場で走り回って取材しているのは裏取り取材の経験の乏しい人たちがばかりだ。日本テレビは、問題の根本を個人の能力の問題と捉え

ているように見えるが、そういうしくみを作ったのは局である。その責任について、日本テレビの報告には触れられていない。

- 番組の責任者は十分な情報を知らずに判断を迫られ、その一方で現場のスタッフは情報提供者の詳しい情報を知らされずにロケに行っている。オーケストラのように協業を行わなければいけないのに、それぞれが一部分しか分からないオートメーション工場のような分業になっている。
- 事実ではないことを報道したことについて、結果責任ではなくて注意義務を怠った重大な過失があると捉えるべきだ。まず、真実でないかもしれないと予見する"予見義務"をどうやって制作体制に取り入れるかという問題だ。
- 放送前に、おかしいと思うべきことが何点か分かっていたのに確認しなかった。調査報道をする際に踏むべき常道をどの程度踏んだのかを検証すべきだ。
- 検証委員会が最初に審理したTBSの事案の場合は、一人の内部告発者の証言だけで番組を作ったとすると、注意義務違反が問われたかもしれない。しかし、非常にあいまいだったけど第2の証言者がいたので、真実と信じるに足る根拠が得られたと委員会は考えた。今回はそれが無い。
- 番組制作期間があまりにも短すぎる。大きなテーマなのに調査がそんな短い時間でできるはずがない。全体の責任体制もよくわからないなど、いろいろな問題がある。オーケストラの例が出たが、コンダクターがきちんとすべてを把握して指揮しないとだめだ。
- この状況下であれば、自分も同じ過ちを犯しただろう。現場のスタッフを責められない。私たちは、検証番組を作るべきだと反省のあり方を示唆してはどうか。テレビで犯した過ちはやっぱりテレビであらう、それが一番フェアなテレビマンの反省の仕方ではないか。
- 視聴者が納得するような検証番組を制作することが大切だ。日本テレビの調査報告書、特別調査チームの調査報告書、委員会の決定文案は70%位重なっていると思う。これらは検証番組の立派な台本になる。

こういった意見を踏まえて、次回の委員会で最終決定できるよう、継続して審理することにした。

2. 戦時性暴力を扱ったNHKの『ETV2001』

4月28日に委員会が通知・公表した「意見」に対して、6月4日にNHKから「放送倫理検証委員会の意見についての見解」が提出された。同日の記者会見において、NHK会長はこの問題に言及している。また、5月12日（1094回）と5月26日（1095回）に開催されたNHK経営委員会でもこの件は付議事項として議題に上り、NHKのホームページで公開されている議事録からも活発な議論が行われている様子うかがえる。当委員会は、この問題についてより議論を深めてもらう材料を提供する目的で、委員会の「意見」とNHKの見解などを一冊のブックレットにまとめることにした。

3. 道路清掃をめぐる二重行政を取り上げたTBS『情報7daysニュースキャスター』

4月11日に放送された『ニュースキャスター』で、府道と国道との交差点で大阪府の清掃車が国道を横切るときに、清掃用のブラシを上げて国道は清掃しないようにして通行する映像が二重行政の例として取り上げられた。TBSは、これが誤解を招く放送であったことを認め、お詫び放送を行った。この事案について、委員会がTBSへ出した質問に対する回答書が提出された。その回答書をもとに議論したが結論に至らず、委員会として審議入りするかどうかを含めて、もう一度討議することにした。

4. バラエティー番組の問題点について

バラエティー番組全体に見られる放送倫理上の問題点を委員会としてどう扱うのかというテーマについて、担当委員から2つの案が提出された。組上りの持っている個別の番組について問題点を整理し、具体的に議論することが必要である点では一致したが、方向性についてはひとつの案に絞り込んだ上で、引き続き検討することにした。

<主な委員の意見>

- バラエティー番組は時代と共に変貌する。それに伴い、バラエティー番組に関する問題も反復して発生する。どうして、制作者は過去の事例や他局の事例に学ぼうとしないのか。

- 放送倫理を問うときは先に判断基準があり、その基準に違反しているかどうかを検証するプロセスを経なければならない。バラエティー問題については、判断基準としての、民放連の放送基準に言及すべきではないか。
- べからず集ではなく、おもしろいバラエティーを作るにはどうすればいいのか、という考え方を示してはどうだろうか。ルールのなものは多すぎないほうがいいわけだから、あまり書き込むべきではない。
- 制作しているセクションがどこであっても、バラエティー番組と標ぼうしている限りは全て対象に考えるべきだ。いろいろなジャンルが混ざり合っただけでバラエティー番組は成立しているのだから、軸足がどのジャンルにあるかは問題にすべきではない。
- 風刺がきき、毒がなければバラエティーではない。常識を破ってこそバラエティーだ。制作者は放送倫理のギリギリを狙っていると認識することも大切だ。

昨秋以降の委員会では組上にのせた何本かのバラエティー番組をまとめて検討しなければならず、重いテーマなので十分な時間をかけて議論すべきだという意見が出された。そこで、7月に臨時委員会を開催し、バラエティー番組を集中的に議論することにした。

以上

[第36回 放送倫理検証委員会 - 2010年3月](#)

[第35回 放送倫理検証委員会 - 2010年2月](#)

[第34回 放送倫理検証委員会 - 2010年1月](#)

[第33回 放送倫理検証委員会 - 2009年12月](#)

[第32回 放送倫理検証委員会 - 2009年11月](#)

[第31回 放送倫理検証委員会 - 2009年10月](#)

[第30回 放送倫理検証委員会 - 2009年10月](#)

[第29回 放送倫理検証委員会 - 2009年9月](#)

[第28回 放送倫理検証委員会 - 2009年7月](#)

[第27回 放送倫理検証委員会 - 2009年7月](#)

[第26回 放送倫理検証委員会 - 2009年6月](#)

[第25回 放送倫理検証委員会 - 2009年5月](#)

[第24回 放送倫理検証委員会 - 2009年4月](#)

放送倫理検証委員会

2009年度 議事概要

第27回 放送倫理検証委員会

1. 日時 2009年 7月10日（金）午後5時～8時40分
2. 場所 「放送倫理・番組向上機構 [BPO]」 第1会議室(千代田放送会館7階)
3. 議題
 1. [虚偽証言をスクープとして放送した日本テレビの報道番組『真相報道バンキシャ!』](#)
 2. [戦時性暴力を扱ったNHKの『ETV2001』](#)
 3. [道路清掃をめぐる二重行政問題を取り上げたTBSの『情報7daysニュースキャスター』](#)
 4. [バラエティー番組の問題点について](#)
 5. [取材されたホームレスの男性から抗議があったテレビ朝日の『スーパーJチャンネル』](#)
 6. [金正日総書記の三男の写真を誤報したテレビ朝日の『ワイドスクランブル』](#)
4. 出席者 川端委員長、上滝委員長代行、小町谷委員長代行、石井委員、市川委員、里中委員、立花委員、服部委員、水島委員、吉岡委員
5. 議事の概要

第27回放送倫理検証委員会は7月10日に開催され、まず、日本テレビ『バンキシャ』について5回目の審理を行った。担当委員による委員会決定文の修正案が提出され、審理の結果、初めての「勧告」を出すこととなった。決定の具体的表現については委員長および担当委員に一任とし、速やかに当該局への通知と公表を行うこととした。

NHK『ETV2001』については、前回の委員会で発行することをきめたブックレットについて、掲載する文書等の詰め討議が行われた。二重行政をテーマに大阪府の道路清掃を取り上げた『ニュースキャスター』事案は審議入りしないことをきめた。その理由を「委員長談話」として明文化し、委員会からの質問に対するTBSの回答とあわせて公表することにした。

バラエティー番組の問題点に関する討議は、担当委員により提出された原案について各委員の意見交換を行い、方向性を確認した。7月17日に臨時委員会を開いて集中的に議論することにした。

ホームレスの男性の生活を報道した『スーパーJチャンネル』に対して、取材を受けた男性がヤラセがあったなどと抗議している事案については、当該男性とテレビ朝日との間の話し合いを当面見守ることとした。

北朝鮮の金正日総書記の三男の写真の誤報問題は、テレビ朝日が速やかに誤りに気づき、翌日の放送でお詫びがなされたので、取り上げないこととした。

岐阜県が発注した土木工事で、裏金作りが行われているという建設会社社員の証言を報じた日本テレビの報道番組『パンキシャ!』（2008年11月23日放送）について、担当委員が作成した決定文の修正案をもとに審理した。委員会は審理の結果、検証番組の制作を求めることなど、複数の問題点について具体的な「勧告」を行うことで一致した。なお、「再発防止計画」については、検証番組の中に盛り込むことを求めることとし、文書での提出は求めないことにした。

<主な委員の意見>

- ・この事案を社会的に捉えれば、事実と反する報道であることが明白である点でも、刑事事件の手段となり実害をもたらした点からも『あるある大事典』よりも重いといえるだろう。
- ・番組を制作していく過程で、分業化は進んでいるが、それをつないでゆく司令塔の役割が機能していない。事が起こる前にコミュニケーションを深め、指示を仰ぐことが危機管理の本質だ。
- ・この事案は情報提供者の異常さに原因があるが、10年に1度くらいはこういう問題が起きるので、局は対応能力を持った人物を育て、配置すべきだ。
- ・日本テレビへのヒアリングでは異口同音に、税金を不正に使うことは良くないという答えが返ってきた。会計検査院の調査とこの告発とを、「裏金」という同一の言葉を使って、同質のものとして報じた原因は、税金の不正使用を責める報道をすれば視聴者が納得してくれるだろう、という安易な考えがあったからではないか。
- ・放送法に則った訂正放送といいながら、何を訂正し、お詫びしたのか全然分からない。意味不明かつ中途半端であったことが問題だ。

日本テレビへの通知と記者発表は7月30日に行うことにした。 ([委員会決定本文はこちら](#))

2. 戦時性暴力を扱ったNHKの『ETV2001』

前回の委員会では、この事案の委員会決定に関して、より広く、深い議論をしてもらいたいという趣旨で、ブックレットを発行することにした。ブックレットには、委員会の「意見」および添付資料（「NHKへの質問と回答」および「業務命令と制作者の自由をめぐる論点の整理」）、委員会の「意見」に対してNHKが出した見解—を収録することにした。なお、NHKが出した見解に対しては、ブックレットの前文の委員長コメントのなかで委員会の考え方を表明するとともに、この問題についての議論が行われたNHK経営委員会の議事録のURLを掲載することにした。

3. 道路清掃をめぐる二重行政を取り上げたTBS『情報7daysニュースキャスター』

二重行政の例として、大阪府道と国道との交差点において、府の清掃車が国道を横切るときに清掃用のブラシを上げ、国道は清掃しないで通行する映像がTBSの『情報7daysニュースキャスター』（4月11日）で放送された。通常はブラシを上げていないので、TBSは、これが誤解を招く放送であったことを認め、お詫び放送を行い、更に、委員会の質問に対し、再発防止策を盛り込んだ回答書を提出した。委員会では、問題の小ささと、局が既に自主的・自律的に誤りを十分に正していることから審議入りはしないこととしたが、委員会の決定について誤解を生まないよう、その理由を「委員長談話」として明示し、「委員会が出した質問書とTBSの回答書」と共に公表することにした。なお、「委員長談話」では、委員会がこの事案を討議中であるのに、総務省がその結果を待たずにTBSに対して「厳重注意」を行ったことについての委員会の考え方も表明することとした。 ([委員長談話などはこちらを参照](#))

4. バラエティー番組の問題点について

バラエティー番組全体に見られる放送倫理上の問題点を議論するために、担当委員が方向性について絞り込むメモを作成して討議を行った。前回の委員会委員から出された提案どおり、次回の委員会で集中的に議論することとなった。

<主な委員の意見>

- ・放送法の精神、番組編集準則、番組基準の設定、これらは報道だけではなく、バラエティーにも当てはまる。性表現に関する放送基準は、報道はもちろんバラエティー番組の基準でもある。何かバラエティーだけが特殊なものとして捉えられてしまうことに、危惧をいだく。
- ・テレビの中に、何でもありの、底なし沼みたいなものがある。そういうテレビが生み出したブラックホールを、どう扱っていくべきなのか。
- ・バラエティーとは、論じようが論じまいが、自然発生的に出てきた分野であるし、これからも変化して行くと思う。変に、原理主義的に捉えるのは、高みからものを言っているように見える。ブラックホールもあつての宇宙だから、作る側の自由も尊重すべきだ。
- ・抽象的な議論よりも、問題点を抱えたバラエティー番組が、どんどんあふれてくるという現象は、一体どこに原因があるのかということにポイントを絞るべきだ。
- ・質が低く、世間的に守る価値がないと思われるような言論をいかに守るかというのが、アメリカの言論の自由に関する判例だ。この議論も、問題の立て方を誤ると、バラエティー番組は守る必要がないという方向に行く危険性を感じる。
- ・ただ、アメリカでは、性的な表現などのテレビ放送が許容される基準は日本以上に厳しい。その理由は、地上波という有限でどこにでも届く媒体を使った放送の守るべき公共性とか、社会的責任にあり、そこが普通の出版活動とは絶対に違う。

この事案は、7月17日に臨時委員会を開いて集中的に議論することになった。

5. 取材されたホームレスの男性から抗議があったテレビ朝日の『スーパーJチャンネル』

今年の1月20日に、札幌市のホームレスの男性を取りあげ、日常どのような生活をしているかを詳しく放送した。その男性がテレビ朝日に対して、取材の際、ヤラセなどがあったと抗議していることが週刊誌で報じられた。双方の言い分が食い違いう上、テレビ朝日の対応も継続しているので、当面、両者間のやり取りを見守ることとした。

6. 金正日総書記の三男の写真を誤報したテレビ朝日の『ワイドスクランブル』

テレビ朝日が、韓国在住の金正日総書記の「そっくりさん」として有名な男性の写真を、三男の近影として報道した事案。テレビ朝日は、6月10日昼前の『ワイドスクランブル』で「これが三男の写真だ」と放送した。しかし、夕方の報道番組で同様の放送をしたあと、その番組のエンド部分で「三男かどうかを確認中」とコメントし、新聞のラテ欄で予告していた夜の『報道ステーション』では、お断りのコメントだけで放送しなかった。そして、翌日の各番組で誤報だったことをお詫びした。誤報の原因が裏づけ取材の不足だったことを速やかに確認し、お詫び放送もくり返ししているので、委員会としては取り上げないこととした。

以上

[第36回 放送倫理検証委員会 - 2010年3月](#)

[第35回 放送倫理検証委員会 - 2010年2月](#)

[第34回 放送倫理検証委員会 - 2010年1月](#)

[第33回 放送倫理検証委員会 - 2009年12月](#)

[第32回 放送倫理検証委員会 - 2009年11月](#)

[第31回 放送倫理検証委員会 - 2009年10月](#)

[第30回 放送倫理検証委員会 - 2009年10月](#)

[第29回 放送倫理検証委員会 - 2009年9月](#)

[第28回 放送倫理検証委員会 - 2009年7月](#)

[第27回 放送倫理検証委員会 - 2009年7月](#)

[第26回 放送倫理検証委員会 - 2009年6月](#)

[第25回 放送倫理検証委員会 - 2009年5月](#)



Copyright © 2003- 2010 Broadcasting Ethics & Program Improvement Organization All Rights Reserved.
許可なく転載することを禁じます